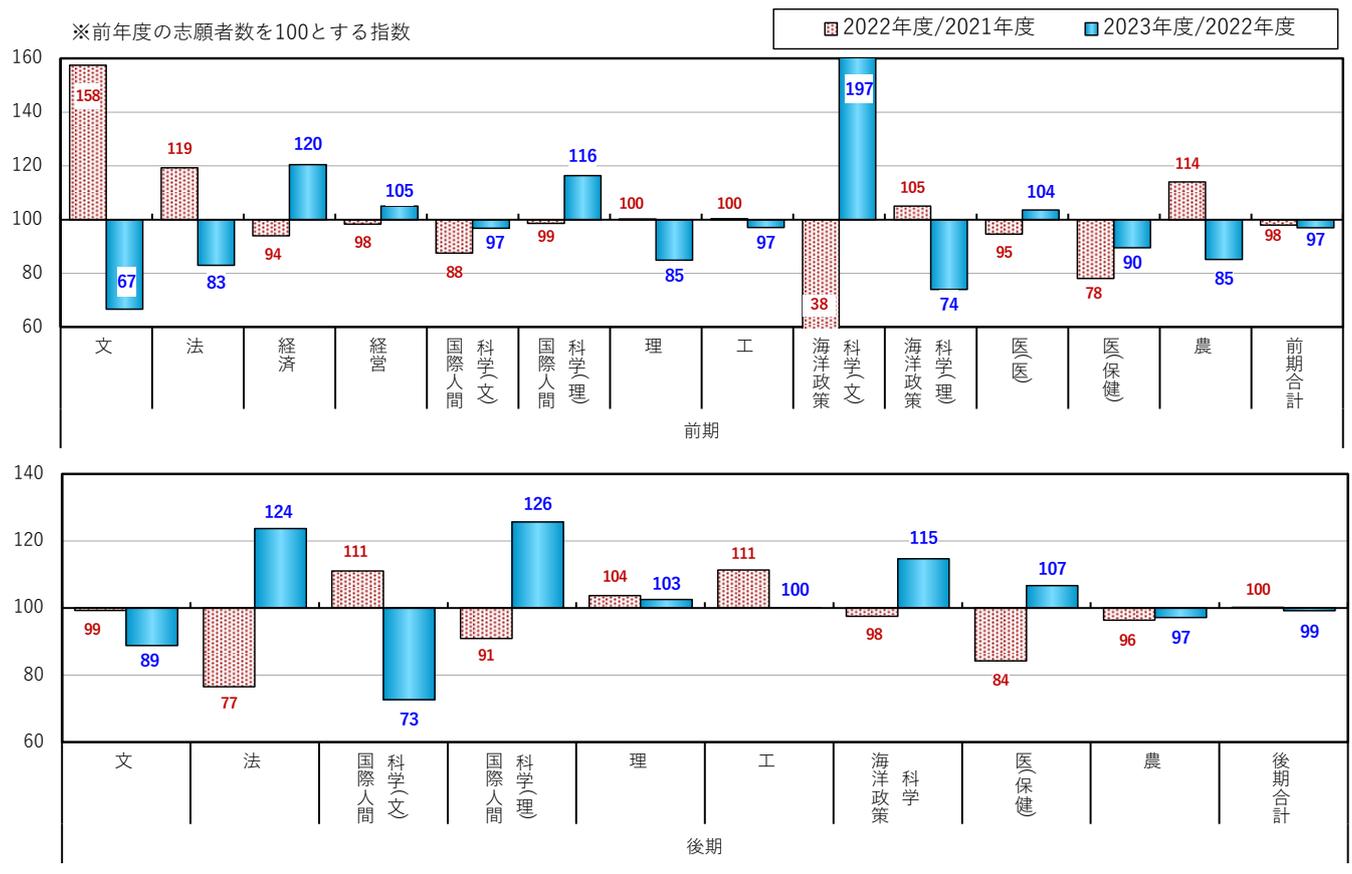


神戸大：前期はやや減少、後期は前年度並

前期：-186人 後期：-32人



主な入試変更点 募集人員：工(電気電子)<前>…73人→65人、<後>18人→26人

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前期は186人(97)のやや減少。文理別では、文系は75人(103)のやや増加、理系は261人(92)の減少。後期は32人(99)の微減で前年度並。文理別では、文系は107人(93)のやや減少、理系は75人(103)のやや増加。

- <前期日程>
- 文(67)は、系統への低い人気に加えて、前年度50%以上の大幅増加の反動で大幅減少、大幅増減が4年連続継続。
 - 法(83)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。志願者数は、募集人員が117人になった2019年度以降では最少。
 - 経済(120)は、大幅増加。志願者数が800人を上回ったのは4年ぶり。方式別では、募集人員が160人と最大の(総合)(129)は前年度減少の反動で大幅増加。志願者数が700人を上回ったのは4年ぶり。一方で、(数学)(59)は前年度倍増の反動で40%以上の大幅減少、(英数)(95)はやや減少。なお、志願者数は3年連続40人台で変化は少ない。
 - 経営(105)は、2年連続減少の反動は小さくやや増加。
 - 国際人間科学(99)は、前年度減少の反動はなく前年度並。募集単位別では、(発達コミュニティ)(134)は前年度大幅減少の反動で大幅増加、2017年度の改組以降は反動による増減が継続。(環境共生(理科系))(116)も2年連続減少の反動で大幅増加。一方で、(グローバル文化)(82)は2年連続増加の反動で大幅減少、(環境共生(文科系))(87)は前年度大幅減少に引き続き減少、志願者数は3年ぶりに50人を下回った。(子ども教育)(90)は2年連続増加の反動で減少。
 - 理(85)は、4年連続増加の反動で大幅減少、志願者数は5年ぶりに300人を下回った。学科別では、5学科中で4学科が減少。(生物)(114)は前年度微増に引き続き増加。一方で、(化学)(72)は大幅減少で2年連続減少、(惑星)(76)は大幅減少で反動による増減が継続、(数学)(84)は前年度増加の反動で大幅減少、(物理)(91)は前年度大幅減少に引き続き減少。
 - 工(97)は、やや減少。志願者数は3年ぶりに1,600人を下回った。学科別では、(機械工)(117)は前年度大幅減少の反動で大幅増加。一方で、(応用化学)(85)は2年連続増加の反動で大幅減少、(電気電子工)(90)は、募集人員が8人減少(募集人員の対前年度指数89)した影響もあり4年連続減少、(建築)(91)は2年連続大幅増加の反動で減少。その他の2学科は前年度並。
 - 海洋政策科学(92)は、減少で2年連続減少。方式別では、(文系科目重視型)(197)は前年度激減の反動でほぼ倍増、志願倍率も2.1倍→4.1倍にアップ。一方で、(理系科目重視型)(74)は大幅減少で、現在の募集形態となった2021年度以降で最少。
 - 医(医)(104)は、前年度減少の反動は小さく9人のやや増加。共通テスト360点：個別試験450点と比較的共通テストの比重が高く、共通テストの平均点が上がったことも影響。
 - 医(保健)(90)は、前年度大幅減少に引き続き減少。専攻別では、4専攻中3専攻が減少。(保健/作業療法学)(114)は前年度大幅減少の反動で増加。一方で、(保健/看護)(83)は2年連続大幅減少、(保健/理学療法学)(86)は2年連続増加の反動で減少、(保健/検査技術科学)(94)は前年度大幅減少に引き続きやや減少。
 - 農(85)は、2年連続増加の反動で大幅減少。志願者数は3年ぶりに300人を下回った。学科・コース別では、前年度とは逆に6学科・コース全てが減少。特に、(食料環境システム/食料環境経済学)(74)、(食料環境システム/生産環境工学)(79)、(資源生命科学/応用動物学)(83)、(生命機能科学/応用生命化学)(83)はいずれも2年連続増加の反動で大幅減少。

<後期日程>

- 文(89)**は、系統への低い人気で減少。
- 法(124)**は、前年度大幅減少の反動で大幅増加、2020 年度以降は反動による大幅増減が継続。
- 国際人間科学(78)**は、系統への低い人気と前年度増加の反動で大幅減少。募集単位別では、(環境共生(理科系))(126)が唯一増加、他の 4 募集単位はいずれも減少で、前年度と逆の増減。(環境共生(理科系))(126)は前年度減少の反動で大幅増加。一方で、(環境共生(文科系))(53)は 3 年連続増加の反動でほぼ半減、(子ども教育)(61)は 2 年連続大幅増加の反動で大幅減少、(グローバル文化)(73)も大幅減少で、志願者数は 2017 年度改組以降で最少、260 人を下回った。(発達コミュニティ)(94)は前年度大幅増加の反動は小さくやや減少。
- 理(103)**は、やや増加で 3 年連続増加。学科別では、(生物)(161)は前年度大幅減少の反動で激増。志願倍率も 7.0 倍→11.3 倍にアップ。(惑星)(129)は大幅増加で 2 年連続増加、(数学)(108)は増加で、志願者数は 11 年ぶりに 90 人を上回った。一方で、(化学)(75)は前年度大幅増加の反動で大幅減少、(物理)(89)は減少で 2 年連続減少。
- 工(100)**は、前年度並。学科別では、6 学科中 4 学科が増加。募集人員が 8 人増加(募集人員の対前年度指数 144)した(電気電子工)(114)は 4 年連続増加だが、志願倍率は 12.8 倍→10.2 倍にダウン。(建築)(113)も増加、(応用化学)(105)はやや増加、(機械工)(102)は前年度大幅増加の反動はなく微増。一方で、(市民工)(79)は前年度大幅増加の反動で大幅減少、(情報知能工)(87)は 2 年連続増加の反動で減少。
- 医(保健)(107)**は、前年度大幅減少の反動は小さくやや増加。専攻別では、(保健/検査技術科学)(116)は前年度大幅減少の反動で大幅増加。(保健/理学療法学)(100)、(保健/看護学)(99)はいずれも前年度並。
- 農(97)**は、やや減少で 3 年連続減少。学科・コース別では、6 学科・コース中 2 学科・コースが大幅増加。(生命機能科学/応用機能生物)(141)は 2 年連続減少の反動で大幅増加、(食料環境システム/生産環境工)(130)は大幅増加で 2 年連続増加。一方で、(資源生命科学/応用植物学)(71)は前年度大幅増加の反動で大幅減少、(食料環境システム/食料環境経済学)(76)は 2 年連続増加の反動で大幅減少、(資源生命科学/応用動物学)(89)は減少で 4 年連続減少。(生命機能科学/応用生命化学)(95)は 2 年連続やや減少。